

NPO法人 市民の図書館・ふじさわ
「みつつの図書館への仮想の旅」 2016. 12. 12.

お話：『同時代に近くで、図書館を考える人たちがいて。』

寺田芳朗：寺田大塚小林計画同人代表、藤沢市民。

※HP「寺田大塚小林計画同人」で、お手伝いをした
図書館のスライドショーをアップしています。

URL：<http://www.geocities.jp/tokdojin>

1、埼玉県小川町立図書館、開館17年、この図書館の開架室の魅力：

(東武東上線快速電車で)

- ・池袋から1時間強の小京都、奉仕対象人口4万人弱の図書館。
- ・計画パンフレット(計画同人の編集出版)で、小旅行見学のご案内を。
- ICT(コンピュータテクノロジー)にはできない図書館ならではの魅力？
資料世界(構築と表現)の内をブラウジングすること
だと昔、教わったのです。大庭館辻堂館はいかがですか？

2、開架室のしつらえ、資料世界の表現、表現ツールとしての書架
小川町立図書館、南相馬市立図書館、の開架室の情景：

- ・インターネットにアップしたHP情報へのアクセスのご案内。

3、日野市立図書館市政図書室のしごと、140㎡、4万冊、司書3人の力：

- ・図書館はなんのためにあるかということ。市民と社会にとって。
- ・小川町図書館を考えた18年前、図書館員と訪問をして感動して、
- ・地域資料、情報サービス、と民主主義、地方自治にとって。
- ・戸室幸治(図書館学)先生の論考から(みんなの図書館2010.9~10.連載抜粋)
- 魅力的な貸本屋さんであることも、たいへんな苦勞ですけど、
地方自治と民主主義を支えていくのが図書館の使命
だと昔、教わったのです。大庭館辻堂館はいかがですか？

4、図書館員が登場する物語りを読むように、

ほかの地域の図書館を見学にでかけませんか？

- ・本に出会い、展示物に出会い、魅力的な人に出会い、自分確かめる、
のが図書館ですが、よその図書館見学は自館の現在を気づかせます。
- ・旅のお供の冊子は、
- 「図書館のめざすもの」竹内さとる、/日本図書館協会(本日抜粋を配布)
できれば初版を もういちど読み返してはいかがでしょう。